

presented by

棟蛙

おうち かえる





ギャルで遊んでる
感じだけど
一途でいい子
ヤリマンではない

隣に住んでるギャルのお姉さんにゲームを教える師匠になった
ギャルのお姉さん(ぼくより7歳くらい上) 彼氏にいつもゲームで負かされてる

隣の部屋からゲームしてる男女の声が聞こえる(ぼくの好きなゲーム)
彼氏が帰って静かになったあと近くの人と対戦モードでお姉さんとマッチング→ポコる
翌日「きみ、〇〇(HN)だよな?」「…うん」「—あたしにゲーム教えて!!」
以降ちよくちよくお姉さんの部屋にいてゲームを教えることになる
隣の部屋から喧嘩してる男女の声が聞こえる(深夜)
メッセージ「師匠、今からウチ来れない?」「ベランダから行くので、窓のカギ開けてください」
→ベランダからお姉さんの部屋に移動 窓越しに泣きはらした顔のおねーさんを見る
「師匠…もうゲーム教えてもらおう意味、なくなっちゃった」
「そんなことはないですよ …気晴らしに、対戦しませんか」
→いつもの体勢でゲームする(ノブラの乳首がチラチラ見えてドキドキする
「師匠さー いつもゲームしながらぼっさしてるよね。わら」「!?!?!」
「いじってあげよっかな〜とか思ってたけど いちおー彼氏いたからやめといたんだ」
「だけどもう、関係ないよね」 →手コキ

おねーさんが手で触る「わ、我慢汁すごおっ
…アタシといて そんなにドキドキしちゃった?」
「そ それは…誰だってすると、思います」
だっておねーさんすごく可愛いし…やさしいし…
ステキな女性、なので」
「…師匠 やさしいんだね」(ニコッ)
→ディープなキス
時々おねーさんの舌が歯に当たってコツッて音がなる
「…あ これ(舌ビ) 気になる?」



勝つのも…さす
おねーさん??

今の感じで
つなげられたり
おねーさん??

おねーさん??

師匠!!

おきく

さすっが

小ジャンして…

…さす

このタイミングで

小ジャンして…

口に含んで
舌でこころや
してくれる



おねーさん??

えっちもお姉さん主導(騎乗位)

恋愛に繋がるようなオチ
「ぼくも、お姉さんに彼氏がいたから、できなかったことがあります」
「…なに?」
「…好きです」
「ふふっ それって告白?」
「…っ」
「明日から何のゲームやろっか?」

おとなり

作家 コメント

読者アンケートに「褐色ギャルが見てみたい」と書かれていたので、自分なりに褐色ギャルを考えてみました。作画は親戚のギャルの部屋を参考にしていますが、もう15年くらい前の記憶のため、時代がハイビスカスで止まっています。

似た者 どうし



美月ちゃん
親父の恋人の連れ子

ある日 親父に恋人ができて うちで一緒に暮らすことになった
〇〇さん(母)は超美人で 堅物の親父が惚れるのもわかる
ただ 連れ子の J K はもっと可愛い

主人公の部屋に挨拶にくる
「主人公さん 今日から隣の部屋借ります よろしくおねがいしま〜」
(エロ本読んでる主人公と机に置かれた義妹モノの漫画を発見する)
扉ボタン!「キッモ!!サイテー!!」壁ドン!!

後日リビング
「あれは好きな作家だから持ってる本で あのジャンルが好きなのじゃ〜」
「オタクの話聞きたくないももう人の趣味に口出す気ないから」
→キッチンで母と話してるのが主人公にも聞こえてくる
「お母さん、なんであんなヤツが良いわけ?息子もマジで最悪だし〜」

ある日親同士の喧嘩が二階の主人公の部屋まで聞こえてくる
翌朝
「主人公さん 今日出ていくことになったから 一応お世話になりました」
「う うん… こちこそ〜」
「…!! これ…〇〇のブルーレイ!? あたしこの監督の作品超〜っ」
「え 知ってるんだ 美月ちゃんも結構オタクじゃん」
……(睨みながらボタンで扉閉める)

ダイジェストっぽい描写(連絡→再会→友達→恋人まで)
「親父が〇〇さんと縁を切って いつもの日常にもどっただけど 俺と美月ちゃんの縁は切れなかったむしろその逆で〜〜〜」

ダイジェスト

- ①(主人公の SNS に DM くる)
みつき『△△作品だとどれが好き?』
(え…みつきって…美月ちゃん?)
- ② DM で寝落ちするまで映画の話してる
主人公『駄作って言われるけど俺は最高傑作だと思う』
みつき『あの監督好き嫌い別れるよね〜』
みつき『私は SF の二作目がす j b n k』
主人公『あ〜』
主人公『寝落ち?』
- ③ 映画見に行ってるコマ 久しぶりに会う
④ また映画見に行ってるコマ(自然に付き合う流れに?)
映画見ながらごちなく手を握って握り返される感じ

→ホテメいる
「美月とこんな感じになるなんて 思いもしなかったな」
「あたしも 第一印象最悪だったし」
「初対面のときから あたしのことエロい目で見てたでしょ」
「え…いや…どうかな……」
……いまは そういう目で見てる」
→初えっち



主人公がオタクなので
喜ぶかなと思つて
私服デートの日に
学校の制服持参してくれる

ちょこっとの体勢
恥ずかしい〜っ

お話づくりは担当編集
さんはかなり助けても
らった気がします。その
代わりと言つてはいけ
ませんが自分は作画を
たいへんよくがんばり
ました。

作家
コメント

こたえあわせ

作家 コメント

こういう、どこかで何かを間違えて純愛になれなかった恋を考えると胸が
ギュってなっちゃうのであまり描きたくないな…って執筆中に自覚しました。
でも読むのは大好きで、個人的には今回の収録作で一番好きなお話です。



少しだけえっちなことをした女の子が数年後ビッチになって今度は逆に襲われちゃう話

ヒロイン(友達妹)

中学生のころ 主人公(当時高校生くらい?)と何度かえっちなことをしてた
(お互いにうっすら好印象だったけど罪悪感で疎遠になったかんじ)
それがきっかけでえっちなことに目覚めて変態になっちゃった女の子
兄が連れてくる男と何人も寝てる清楚系隠れビッチ

社会人の主人公、高校の友人が泊めてくれるとのことなので遅くまで飲む

酔いつぶれた友人を連れて家に行く→妹と再会

リビングで会話したら数年前あったことの話になる

→昔女の子にしたこと(手で触ったり舐めたり)と同じことをそのままやり返されちゃう

数年前の主人公と女の子について

友人の家に遊びに行く時たまに妹に勉強を教えていたとかの仲
勉強代わりに膝の上に座ってる妹に兄が席外している間に
手出しちゃった感じ



最初は耳に触ったりして反応を楽しむ程度だったけど
後からパンツの上手いれたり徐々にエスカレート
→主人公の股間もめちゃめちゃ困ってて
心臓がバクバクしてる時に兄帰宅
→線を越える前に主人公が上京
→気まずい感じに



〇〇ちゃん前とすいぶん
変わったところがある

〇〇ちゃん前とすいぶん
変わったところがある

覚えてますか?

あの頃わたしと
何してたかも

余裕があるビッチという感じじゃないんだけど
手際よくゴム付けたり騎乗位上手かったり
ぐぐぐ攻めてきて他の男と何度も寝てそう感じが
とてつもない場面見せる